歴史　日光御成道が彩る 江戸の薫り高きまち

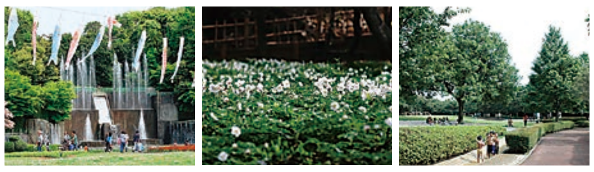
陸路の日光御成道川口宿・鳩ヶ谷宿、水路の見沼代用水・芝川・荒川。治水対策・災害復興・都市計画で江戸の発展を支えた伊奈氏12代や大奥最後の御年寄・瀧山も眠る歴史の薫り豊かなまちなのです。

産業　聖火台が語り継ぐ ものづくりのまち

日本の産業を支えるものづくり。鋳物・機械・木型工業。かつては織物産業や味噌醸造が人々の生活を豊かに。21世紀の花形・映像産業も育っています。また、1964年東京オリンピック聖火台に込められた"ものづくり"の魂は川口の誇りです。

自然　都会なのに自然豊かな うるおいのまち

川口の一部は県立安行武南自然公園区域に指定され、都心からすぐなのに緑豊かなことも、魅力のひとつです。約16万㎡の大庭園・グリーンセンターは年間約43万人を迎える都会のオアシス。ぜひお越しください。



★川口市マスコット★

きゅぽらん

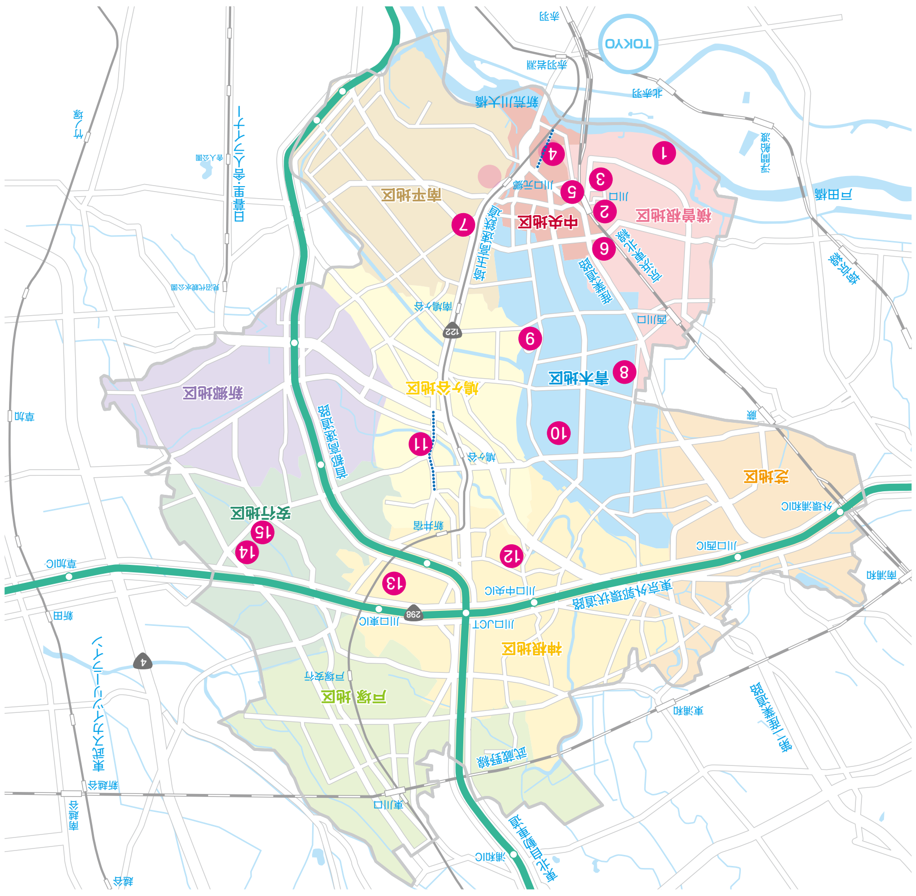
川口オートレース　森 且行 選手

名前も姿も、「キューポラ」ゆずり。"鋳物のまち"川口を象徴する、鉄を熔かす熔解炉「キューポラ」がモチーフです。胸のKには"川口の星"になるようにという願いが込められています。
「かわいがって欲しいきゅぽ♡」 by きゅぽらん

川口を"見たい・知りたい・遊びたい"情報なら!
デジタルガイドBOOK
ようこそ 1110city.com
1110city 検索

川口! KAWAGUCHI

川口 見どころMAP
KAWAGUCHI ATTRACTIONS MAP



都心からのアクセスの良さは抜群!

「近い!」「早い!」「楽しい!」川口

新宿から 22分　新宿駅 — JR埼京線 — 赤羽駅(乗換え) — JR京浜東北線 — 川口駅

東京から快速 24分/普通 29分　東京駅 — JR京浜東北線 — 川口駅

後楽園から 22分　後楽園駅 — 東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道線 — 川口元郷駅

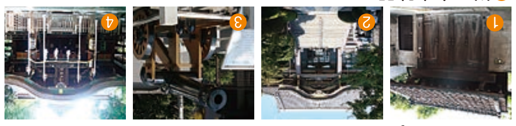
所要時間は運行状況等により変動します。

①浮間ゴルフ場
開場60年の歴史を誇る伝統の河川敷コース。ビギナーにもシングルプレーヤーにも人気。
飯原町14-1 バスJR川口駅西口【川51】飯塚3丁目下車徒歩2分 P有 048-253-1883

②川口西公園(リリアパーク)
面積約3万㎡の駅前空間。四季を通じた憩いの場。桜の季節は圧巻です。
川口3-1 JR川口駅西口徒歩1分
P無 048-256-2510(川口市公園緑地公社)

③川口総合文化センター・リリア
ウィーンフィルも公演。有名アーティストの公演やワンコインで楽しめるパイプオルガンコンサートなど。
川口3-1-1 JR川口駅西口徒歩1分
P有 048-258-2000

④日光御成道・川口宿
日光社参の将軍一行昼餉の宿場。江戸の歴史を訪ねて。
本町1周辺 JR川口駅東口徒歩15分・SR川口元郷駅徒歩8分



1 川口宿本陣門
川口宿の中心。江戸の風情を今に伝えます。
2 錫杖寺
将軍昼食の御膳所。大奥筆頭年寄瀧山の墓も。
3 18ポンドカノン砲(復元)
幕末の軍備を支えた西洋砲に負けない技術。
4 川口神社
鋳物の守護神金山権現社を同時に祀る都会のオアシス。

⑤中央図書館・メディアセブン
駅前に展開する約50万冊の蔵書を誇る大型図書館。市民の知的欲求を満たします。
川口1-1-1(キュポ・ラ5～7階)
JR川口駅東口徒歩1分 P有 048-227-7611

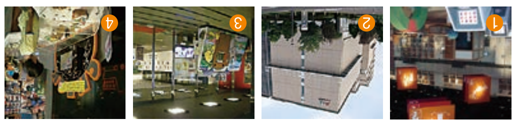
⑥アートギャラリー・アトリア
木々と芝生に囲まれた都市型美術館。ウッドデッキが心地よい。
並木元町1-76 JR川口駅東口徒歩8分
P無 048-253-0222

⑦旧田中家住宅(国指定重要文化財)
麦味噌醸造で財を成した大正浪漫の繁栄を今に。和と洋の様式美が見事です。
末広1-7-2 SR川口元郷駅徒歩10分
P有 048-222-1061

⑧東京オリンピック聖火台(同型品)
1964年東京オリンピックで聖火を燃え上がらせた川口鋳物の代表作。同型品が設置されています。
西青木4-8-1(青木町平和公園内)
西川口駅東口徒歩13分 P有

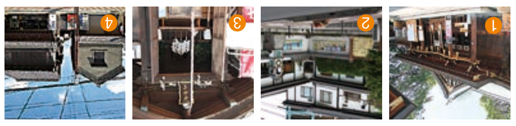
⑨川口オートレース
時速150kmのドラマ。ド迫力レースとB級グルメがストレスを吹き飛ばし舌をうならせます。
青木5-21-1 JR西川口駅東口・SR南鳩ヶ谷駅から無料シャトルバス有 P有 048-251-4376

⑩SKIPシティ
映像産業の拠点。様々な学習施設もそろいます。
上青木3-12-18 SR鳩ヶ谷駅徒歩20分 JR川口駅東口【川18】JR西川口駅東口【西川08】川口市立高校下車徒歩5分 P有



1 川口市立科学館
参加体験型。プラネタリウムや国内有数の太陽天文台が。
048-262-8431
2 彩の国ビジュアルプラザ
デジタル映像制作拠点。参加体験型の映像ミュージアムも。
048-265-2500
3 映像公開ライブラリー
番組公開ライブラリーではNHKの代表的な番組などを視聴できます。
048-268-8000
4 彩の国くらしプラザ
大人から子どもまで楽しく生活の"消費"を学ぶテーマプラザ。
048-261-0993

⑪日光御成道・鳩ヶ谷宿
中山道、日光街道、舟運の見沼代用水からの商いで栄えた宿場。
鳩ヶ谷本町1周辺 SR鳩ヶ谷駅徒歩5分



1 鳩ヶ谷氷川神社
上杉征伐の折、家康が休憩したとも。酉の市・節分祭は盛大です。
2 御成坂公園
御成道中の壁画やからくり時計が宿場さんぽに安らぎをくれます。
3 市神社
商いのまち鳩ヶ谷のルーツ。3と8の日に立った三八市の守護神。
4 十一屋北西商店店舗(国登録有形文化財)
歴史を語り継ぐ店構え・蔵。店の天井には見事な梁(はり)が。

⑫グリーンセンター
四季の花と緑に囲まれた植物園。16万㎡に大温室・ミニ鉄道・展望すべり台なども。
新井宿700 SR新井宿駅徒歩10分
P有 048-281-2319

⑬赤山陣屋跡(城址)
荒川・利根川を改修し、江戸を洪水から守った伊奈氏12代の居城。
赤山766-2ほか SR戸塚安行駅徒歩15分
P無 048-222-1061

⑭川口緑化センター(樹里安)
道の駅「川口・あんぎょう」併設。植木・花卉・造園の拠点。相談もお気軽に。
安行領家844-2 SR戸塚安行駅徒歩20分
P有 048-296-4021

⑮万葉植物苑・イチリンソウ自生地
地元の人々が育む草花の園。市の天然記念物イチリンソウは毎年4月に可憐な花を咲かせます。
安行領家1860 ⑭から徒歩10分
P有

あ 荒川・芝川 川のまち
～川口を育んだ川の恵み～

荒川から市街地を望む

芝川

安行出羽緑道

見沼代用水東縁

大消費地江戸と川口を舟運で結んだ荒川・芝川・見沼代用水。鋳物や農産物など、川口の産業の発展を支えた母なる川たちです。いまも市内には大小400もの川が流れ、周囲の木々とともに四季を彩ります。

い 鋳物・木型・機械 産業のまち
～伝統の"ものづくり"～

川口を代表する産業・鋳物業

国指定重要文化財・学習院女子大学正門

鋳物とともに発展してきた機械工業

自由自在な鋳物の造型を支える木型工業

鋳物の起源は室町時代にさかのぼるといわれ、機械・木型とともに発展してきました。江戸時代には釣竿（和竿）製作・味噌醸造・織物なども発展。
"ものづくり"の技術と精神は、川口のDNAなのです。

う 植木・花卉（かき） 緑のまち
～江戸から続く特産品～

伝統の造形美・安行植木

せり市

約16万㎡の大庭園・グリーンセンター

赤山の枝物

江戸時代から続く植木産業。土壌・地形・立地に恵まれ、伝統の技が創りあげた「安行植木」はいまや世界ブランドに。生け花に気品と風格を醸す枝物は、その技術の確かさから「赤山物」と称され市場の信頼を得ています。

え 映像 Dシネマのまち
～SKIPシティを拠点に集積～

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

映像産業の拠点・SKIPシティ

映像を作る・彩の国ビジュアルプラザ

体験型のサイエンスワールド

次世代の映像産業を担う人材を"育てる"仕組みがSKIPシティに集積。映像を見る場・学ぶ場・作る場・発表の場が揃った全国にも類いまれな環境が、映像にチャレンジしたいという"思い"を本気の"熱意"に高めています。

お 御成道 将軍社参のまち
～徳川将軍日光社参の宿場町～

川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり

オートレース

川口オートレース

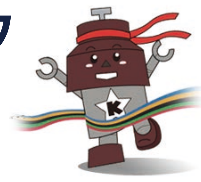
鳩ヶ谷宿御成坂公園

レースに挑む選手たち

日光御成道(にっこうおなりみち)は、歴代の徳川将軍が日光社参に使った将軍専用道です。川口宿・鳩ヶ谷宿の名残りが江戸の香りを伝えます。また、川口オートレース場では、時速150kmのスリルとスピードによって展開される、スリルのあるドラマを楽しめます。

1964→2020 語り継ぐ"ものづくり"の魂

東京オリンピック 聖火台物語



川口の鋳物師（いもじ）、鈴木萬之助・文吾さん父子の手による聖火台。「川口鋳物師の心意気を見せよう」。萬之助さんは、製作の依頼に採算を度外視して引き受けました。作業は昼夜を問わず行われ、2カ月後には鋳型を作り上げ、液状に溶けた鋳鉄を流し込む「湯入れ」を迎えます。しかし、鋳型は爆発、失敗に終わり、精根尽き果てた萬之助さんは、8日後、帰らぬ人となりました。享年68歳でした。

重責を引き継いだ文吾さんは弔い合戦と決意を固め、寝食を忘れて製作に没頭しました。やがて迎えた湯入れの日。ついに成功。ゆるやかに冷やされた型枠の中からは、父子の魂が創り上げた見事な聖火台が姿を現したのです。

聖火台は、1964年、東京オリンピックの開会式で、全世界が注目する中、最終聖火ランナーが灯した聖火を見事に燃え上がらせました。

聖火台に刻まれた「鈴萬」の文字。父鈴木萬之助さんの名です。文吾さんの誇り。それは川口鋳物師、川口の誇りでもあります。その後も毎年、聖火台を磨いた文吾さん。2008年に惜しまれながら86歳で永眠しました。

この聖火台は、旧国立競技場の解体に伴い、東日本大震災からの復興のシンボルとして被災地を巡っていましたが、2019年10月に誕生の地である川口市へ里帰りしました。その後、別れを惜しむ声が多く上がるなか、2020年3月に新国立競技場の東側ゲートへと旅立ちました。